市長記者会見



本日の案件

- 1 市制施行60周年事業等に関する市民アンケートの実施について
- 2 【県内初】スローショッピングの実施について
- 3 「観光業需要回復支援事業」の実施について
- 4 令和 5 年台風第13号から 1 年 ~ 発災から 1 年間の状況について ~

市長記者会見

案件①

市制施行60周年事業等に関する市民アンケートの実施について





市制施行60周年事業等に関するアンケートにご協力をお願いします。

令和6年8月26日 市長記者会見資料

- 令和8年10月1日、いわき市は市制施行60周年を迎えます。
- ○昭和41年にいわき市が誕生して以降、 | 周年時には市章・市歌、 | 0周年時には市民憲章を制定したほか、イベント等を開催するなど、これまで各周年を記念して様々な取組みを実施してきました。
- ○60周年にあたり、市民の皆様のご意見を伺いながら周年事業の取組内容を検討していくため、Webアンケートを実施します。

【アンケート項目】

- →周年事業について
- ▶市歌について
- ▶市民憲章について

アンケート期間 令和6年10月20日(日)まで



アンケートはこちらから







主なアンケート項目等について

周年事業について

□費用をかけて見直す必要はない

※回答は原則選択方式※所要時間約10分程度

など

➤記念事業の実施要否及で □これまで通りの規模 □コンパクトに実施	, - , , ,	□これまで以 □実施の必要	.上に大規模に実施 性はない	など	キャッチコピー・ロゴマークの例 50 周年
→キャッチコピー及びロコ □作成した方が良い 市歌及び市民憲章につ		否 □作成しなく	ても良い	など	カきステキ半世紀
中	/ □ 🕏	らおむね良い	□やや良くない □良くない	など	
➤見直しの要否 □見直す必要はない	□見	直した方が良い		など	
≫見直す必要がない場合σ □慣れ親しんだ歌 □いわきの歴史を感じ	□いわき出	身の著名な詩人		ている作品で	で誇りに思う









これまでの周年事業の主な取組み

I 周年 (1967年)	市章・市歌の制定		記念イベント支援事業 市民団体を対象に40周年を記念 する事業のアイデアを募集し、選	
5周年 (1971年)	市の木「クロマツ」制定	40周年		
10周年 (1976年)	市民憲章制定	(2006年)	定事業に補助金を交付 ・熱気球プロジェクト	
15周年 (1981年)	いわきおどり発表		・小学生20人21脚大会 など	
20周年(1986年)	いわき市・由利本荘市 親子都市締結		記念事業プレゼン大会 市民に記念事業を提案いただき、 入賞したアイデアを記念事業とし て実施	
25周年 (1991年)	いわき市・タウンズビル市 国際姉妹都市締結	50周年 (2016年)		
30周年 (1996年)	市の鳥「かもめ」制定 イメージソング発表	(2010-4-)	・磐城平城復元「一夜城」プロジェクト ・いわきを繋ぐプロジェクション・マッピング	
35周年 (2001年)	市の魚「めひかり」制定		・いわき駅の発車炉	









いわき市歌

昭和42年制定

作詞 乗田 まさみ 補作 草野 平少 作曲 小林 研一郎 補作編曲 渡辺 浦人

- 1. 若いまち いわき 伸びてゆく いわき さわやかな 海の夜あけに 夢をはらんで 満ちてくる潮 あふれるのぞみ いわき あふれるのぞみ いわき みんなで呼ぼう ^{しあわ} 幸せをここに
- 2. 若いまち いわき 花ひらく いわき 街ごとに 光はあふれ ゃ ま こうば 炭鉱に工場に こだまする歌 ほほえむみのり いわき ほほえむみのり いわき みんなで呼ぼう 幸せをここに
- 3. 若いまち いわき 栄えゆく いわき 湯のさとに けむりたなびき 七浜の波 さわぐ松風 ゆたかなながめ いわき ゆたかなながめ いわき みんなで呼ぼう 幸せをここに







いわき市民憲章

昭和51年制定

日本一広い面積をもち、気候が温暖で、豊かな自然といで湯にめぐまれたいわき市は、首都圏にも近く、国際港をもつ近代都市として、躍進をつづける、若さにあふれたまちであります。 わたくしたちは、貴重な先人の遺産を受けつぎ、いわき市民としての自覚と誇りをもつて、調和のとれたまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

わたくしたちいわき市民は、

- I 元気で働き、豊かなまちをつくりましよう。
- I 互いに助け合い、明るいまちをつくりましよう。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくりましよう。
- 1 教養を高め、文化のまちをつくりましよう。
- I 自然を愛し、緑のまちをつくりましよう。

(静岡県静岡市と清水市の合併により『静岡市』が誕生したことに伴い、平成15年4月1日から本市は「日本一広い」市ではなくなりました。)



市長記者会見

案件②

【県内初】スローショッピングの実施について

実施概要



スーパー「マイヤ」でのスローショッピングの様子(岩手県滝沢市)



地元のスーパー株式会社マルト様のご協力のもと、認知症の方とそのご家族の買物を支援する取組みとして、認知症サポーター (チームオレンジ)の皆さんと「スローショッピング」を実施します

- I. 日 時 令和6年9月4日(水) 13時30分~15時30分
- 2. 場 所 マルトSC草野店 (平下神谷字仲田120)
- 3. 参加者 認知症の方やそのご家族と、「認知症サポーター」で 結成された支援チーム(チームオレンジ)の皆さん
- 4. 内 容 13時30分~ 買い物開始(付き添い支援) 14時~ 専用レジの設置(スローレジ)
- ➡ 店内イートインスペースで、ご家族からの相談受付・参加者交流
- ※今回はモデル地区での試行的実施であり、今後、他の地域も含めた展開を めざしています

「チームオレンジ」これまでの主な取組み





認知症世界の歩き方実践ワークショップの様子(令和5年10月)

令和4年 II月 認知症サポーター養成講座(マルトSC)

12月 認知症啓発パネル展示 (マルトSC)

令和5年 8月 認知症サポータステップアップ講座

→ サポーター養成講座の修了者を対象に、実際の支援活動を想定した講座

10月~II月 認知症世界の歩き方実践ワークショップ (マルトSC)

→ 認知症の方が見える世界や景色を動画等で学習・店内見学

12月 スローショッピング支援チーム第1回ミーティング

令和6年 I月 インスタントシニア(高齢者疑似)体験会(マルトSC)

→ 認知症の方との買い物体験、声掛け方法の学習等

3月 認知症啓発パネル展示 (マルトSC)

【認知症サポーター】

市主催の認知症サポーター養成講座の受講修了者で、認知症について知識を持ち、認知症の方やご家族を地域で温かく見守る応援者 (サポーター数:28.595人 令和6年7月現在)

今後の取組み (認知症バリアフリーのまちづくり)





- → 令和6年3月策定に策定した「市認知症施策推進計画」に基づき、認知症バリアフリーのまちづくりを推進
- > スローショッピングの拡充に向けては、次の取組みを実施
 - 1. 認知症サポーターの養成
 - ▶企業や学校など関係団体とも連携し、認知症サポーター講座を 実施
 - 2. 地域ごとにチームオレンジを整備
 - ▶認知症サポーターや企業等に対し、スローショッピングを含む 認知症に係る取組について啓発
 - 3. 市内商業施設への働きかけ
 - 4. 今回のスローショッピングの検証

お問い合わせ先



- ▶ 市では、認知症サポーターの活動に関心のある市民の皆様、商業施設、 事業所の皆様からのお問い合わせをお待ちしています。
- > 認知症サポーター養成講座(出前講座)、随時開催しています。

サポーター養成講座の受講

- 市では、企業や学校等関係団体 とも連携し、認知症サポーター養 成講座を開催
- 小学生向け認知症教室



ステップUP講座等の開催

認知症サポーターと支援を必要とする認知症の方をつなぐ仕組み (チームオレンジ)を構築するため、 平地区をモデルに、認知症サポーター活動促進モデル事業を 実施。サポーター活動の場の整備を推進



地域で実践(チームオレンジ)

- スローショッピング
- 認知症カフェ など

- > 認知症の方のご家族からのご相談もお受けしています。
- ◆担当 いわき市役所 地域包括ケア推進課【電話番号 0246-27-8575】

参考資料 | スローショッピングとは

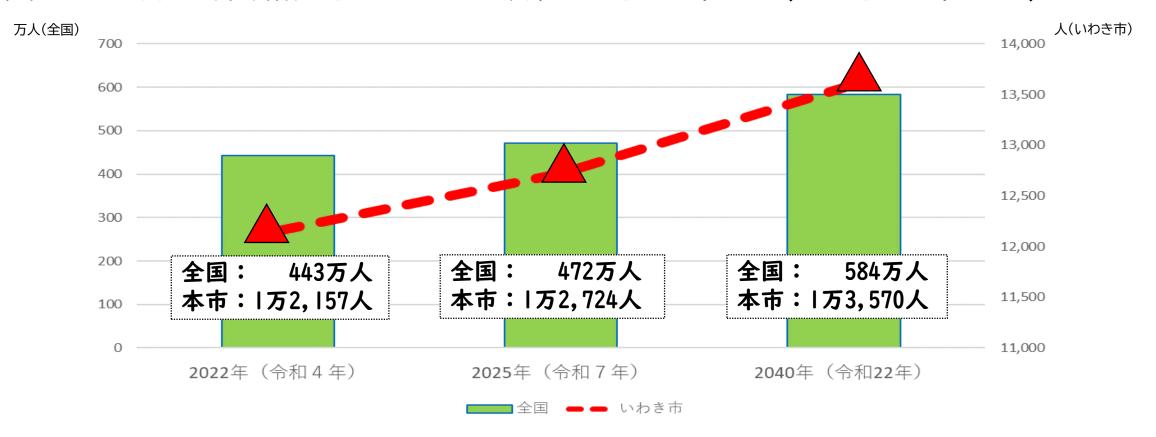


- 岩手県滝沢市で、認知症当事者と家族の社会参画を支援する「認知症バリアフリー 社会」の実現に向けた取組みとしてはじめられたもので、全国の自治体に広がって きています
- ・具体的には、認知症の方や障がいを持つ方など、買い物に不自由さを感じている方に、自分のペースで、ゆっくり買い物を楽しんでいただく取組み
- ・認知症サポーターや協力店舗、関係機関及び行政等が連携して実施
- ・買物中は、家族に代わり、認知症サポーターが付き添い
- ・本市では、「スローショッピング」を認知症の人の生活に関するバリアフリー化に向けた重要な取組みの一つと位置付け
- ・今後は、モデル地区での今回の取組みを検証しつつ、他地域での展開につなげます

参考資料 2 認知症高齢者の将来推計



- 本年5月に、国が公表した推計によれば、2025年の認知症高齢者数は、全国で471万6,000人、2040年は584万2,000人
- ▶ 本市における認知症高齢者数は、これをもとに推計すると、2025年が1万2,724人、2040年に1万3,570人



出典:「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(認知症施策推進関係者会議(令和6年5月8日)資料) ※本市の認知症高齢者数:高齢者数に全国の認知症高齢者の割合(有病率)を乗じた数

参考資料3 認知症バリアフリーのまちづくり

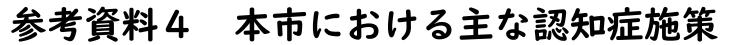


いわき市認知症施策推進計画の重点取組事項

- | 認知症に関する理解促進
- 2 認知症の方や家族への支援体制の充実
- 3 医療・ケア・介護サービス体制の構築
- 4 認知症予防の充実・強化
- 5 認知症バリアフリーのまちづくり

- 1. 施策の方針
- ▶ 本人の個性と能力を発揮できるよう、社会参加の機会を拡大
- 2. 主な取組み
- ▶ スローショッピングの拡充や、認知症の理解の促進など、市民や関係機関と連携し、認知症の人にやさしい環境づくりを推進
- ▶ 「認知症の人や家族の希望やお困りごと」と「地域で活動する認知症サポーターを中心とした支援」に繋ぐ仕組み(チームオレンジ)を地域ごとに整備







1. 認知症の理解促進 と早期発見・早期 対応

- ▶ 認知症サポーターの養成
- > 認知症サポーターの活動促進(チームオレンジの立ち上げ)
- > V R認知症体験の開催
- > 多職種協働研修会の開催
- > ものわすれ相談会の開催

- 2. 認知症高齢者及び 家族介護者の支援
- ▶認知症初期集中支援チームの設置
- ▶オレンジカフェ以和貴の設置
- > ミーティングセンター (よもの会) の運営

市長記者会見

案件③

「観光業需要回復支援事業」の実施について

1. 事業概要





● 背景

- ・震災により落ち込んだ観光入込客数は、これまでの観光施策もあり回復傾向にある ものの、いまだ震災前には至っていない。
- ・さらに、**今般のエネルギー価格・食料品価格高騰は、観光関連事業者に大きな影響を 及ぼしており、厳しい状況**に拍車をかけている。
- ・観光関連事業は裾野が広く、宿泊業や飲食店等多岐に渡ることから、<u>観光入込客数の</u> 増加は、本市の経済活性化に直結するものである。
- ・このことから、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、本市への誘客拡大 を図るため、本年度においても「**観光業需要回復支援事業**」を実施する。
- 目的観光客増加に伴う市内消費額の向上によって、観光関連事業者を支援する。
- ターゲット観光消費単価が高い傾向にある夫婦・カップル層を、メインターゲットとする。
- 事業内容
 - ・宿泊割引クーポンの発行
 - ・本市への誘客拡大に向けたプロモーションの実施

2. 事業内容(宿泊割引クーポンの発行)





● 宿泊割引クーポンの利用条件

公募型プロポーザルにより選定された株式会社リクルートが運営する 「じゃらんnet」から、市内宿泊施設の宿泊予約を大人2名以上で行う場合に利用可能。 なお、先着順とする。※居住地は問わない。

予約受付期間

- ①令和6年9月2日(月)10:00~令和6年11月29日(金)23:59
- ②令和6年12月2日(月)10:00~令和7年2月27日(木)23:59

宿泊対象期間

- ①令和6年9月2日(月)チェックイン~令和6年11月30日(土)チェックアウト
- ②令和6年12月2日(月)チェックイン~令和7年2月28日(金)チェックアウト

クーポン内容(共通)

- ・ 2,000円割引: 1予約あたり10,000円以上
- ・ 5,000円割引: 1予約あたり16,000円以上
- ・10,000円割引:1予約あたり26,000円以上

● クーポン枚数(総数)

2,000円割引: 2,000枚、5,000円割引: 5,000枚、10,000円割引: 5,000枚

2. 事業内容(宿泊割引クーポンの発行)





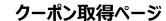
宿泊割引クーポン取得の導線



で使えるクーポン

クーポンの

使用方法









3. 事業内容(本市への誘客拡大に向けたプロモーション)





● 宿泊予約サイト「じゃらんnet」上への本市特設サイト掲載

本市の様々な観光コンテンツを、夫婦・カップル層を想定した大人のドライブコースとして紹介。

秋(9月)、冬(12月) それぞれコースを造成し、季節ごとの魅力を発信。 特設サイト掲載期間:令和6年9月2日(月)~令和7年3月31日(月) ※令和6年12月2日(月)に掲載内容を変更。

● 「旅サラダPLUS」と連携した観光PR動画の制作

モデルで俳優の「トリンドル玲奈」さん(※)出演の 観光PR動画を制作し、全国放送テレビ番組「朝だ!生です 旅サラダ」の旅情報WEBサービス「旅サラダPLUS」等で 公開。

※本事業のメインターゲットである「夫婦・カップル層」 との親和性が高く、訴求力のある著名人として起用。

【公開場所】

- ・旅サラダ公式YouTube
- ・旅サラダPLUS公式サイト
- ・じゃらんnet本市特設サイト

【公開予定日】

- ≪秋≫令和6年9月2日(月)~
- ≪冬≫令和6年12月2日(月)~



3. 事業内容(本市への誘客拡大に向けたプロモーション)





● 季刊情報誌への掲載及びご当地パンフレットの制作

じゃらんnet本市特設サイトへの掲載内容を活用。

季刊情報誌:「じゃらん大人のちょっと贅沢な旅 冬号」綴じ込み別冊にて掲載。

12/5 (木) 発行予定。各書店等にて販売。

ご当地パンフレット:「いわき市じゃらん」を5,000部制作。

12/12(木)発行予定。都内のカフェやヘアサロン等に設置予定。

WEB広告の実施

ディスプレイ広告:Googleと連携する様々なWEBサイトにバナーが表示される広告 リスティング広告:検索キーワードを元に、検索結果画面に掲載されるテキスト広告

【広告イメージ】

・ディスプレイ広告 ※AD=バナー表示箇所













・リスティング広告※ピンク枠内に、「広告」表記とともに表示

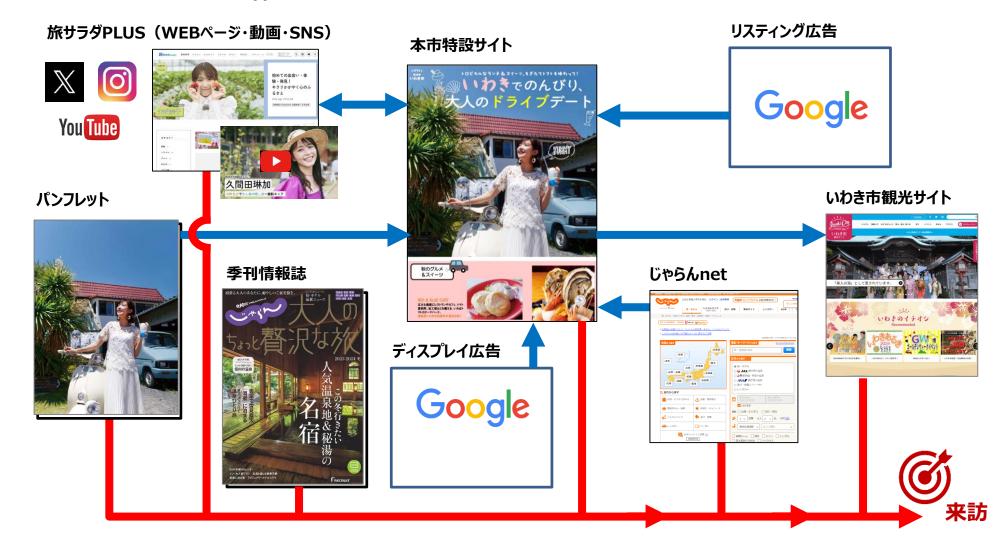


3. 事業内容(本市への誘客拡大に向けたプロモーション)





プロモーション全体イメージ



市長記者会見

案件④

令和5年台風第13号から1年

~ 発災から1年間の状況について ~

令和5年9月8日の発災からこれまでの状況について



被災地で必要な各種支援を展開

現地支援センターの設置

設置期間 R5.9.13~10.31

【2箇所】内郷内町立町集会所/内郷白水町上代集会所

利用者数 3,579人

主な支援業務 支援物資の配布/片付け用資機材の貸出/各種申請受付



被災地のニーズを早期に把握

ボランティアセンターの早期立ち上げ

開設期間 R5.9.10~12.8

活動人数 5,363人

県内 3.764人/県外 1.617人/対応件数 805件



過去の災害の教訓を活かした対応

災害廃棄物処理

※ 発災3日後に設置

仮置き場設置期間 R5.9.11~10.9

受入件数 10,907件

被災地のニーズから臨時仮置き場を設置そのほか、運搬車両の貸出等の支援を実施

令和5年9月8日の発災からこれまでの状況について



速やかな生活再建に向けた解体

損壞家屋等公費解体撤去事業

R6.5.31までに解体完了

解体棟数 90棟

申請受付 R6.1.9~3.29 全壊 9棟/大規模半壊~半壊 81棟



迅速な調査体制を構築

り 災 証 明 対 応

※ 発災2日後に対応

受付期間 R5.9.10~11.10

(り災調査結果棟数)

り災棟数 1,817棟

全壊 11棟/大規模半壊 54棟/中規模半壊 201棟 半壊 606棟/準半壊 24棟/一部損壊 921棟



"学びを止めない"対応

迅 速 な 教 育 環 境 整 備

浸水被害を受けた宮小学校を 発災から 1 週間で学校活動を再開

9.19から、近隣の内郷二中教室を活用11.27から、宮小学校での授業再開

令和5年9月8日の発災以降対応が継続中のもの

市道通行止め 4箇所 (8/26現在)

関田・栗野線(勿来地区) 9月復旧予定 勿来町関田関山地内 30mが通行止め

銅目木1号線(内郷地区) 10月復旧予定 内郷高野町坂下地内 15mが通行止め

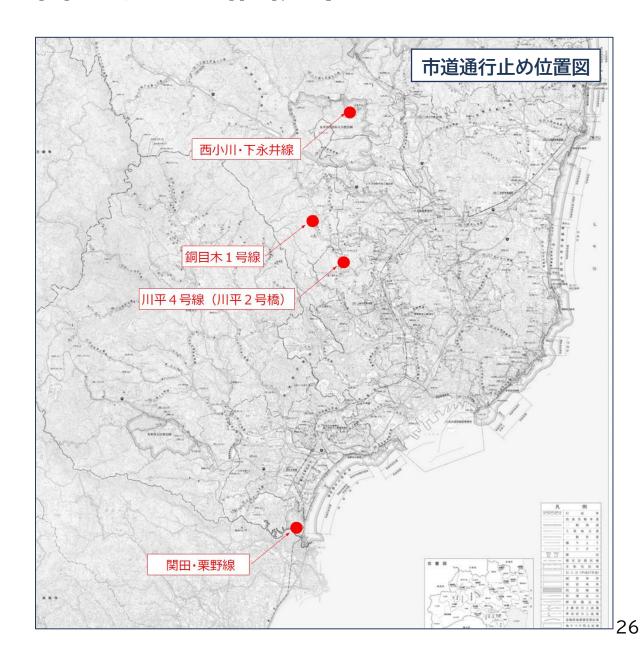
かわだいら

川平4号線(内郷地区) R7年度 復旧予定 内郷白水町川平地内 20mが通行止め

にしおがわ しもながい

西小川・下永井線(小川地内) 復旧未定 小川町西小川字五郎兵衛釜 1-132 地内 2,600mが通行止め

※ 道路周辺の治山対策を先行して実施中



台風第13号災害の教訓を忘れず、

未来へ活かすため、

災害検証チームによる検証を実施しています。

市民の皆様の

逃げ遅れゼロ・災害死ゼロを目指し 全力を挙げて取り組んでいきます。

いわき市